

目黒区軟式野球大会注意事項

目黒区軟式野球連盟審判部

【2021年1月改訂】

1. 試合時間の30分前には必ず集合し、所定のメンバー表を審判員から受領すること。
(大会運営上、既定の試合開始時間より早めに始まる場合もある。)
2. 試合開始予定時間になっても開始できないチームは、「棄権」とする。
3. 服装は、チーム全員同色同型の物を着用し、スパイクは必ず使用すること。
但し、負傷によりスパイクを使用できない者は、試合開始前に必ず審判員に申し出ること。
 - (1) 商標マークは、ユニホームの胸・右袖にもマークを使用してよい。
袖は従来どおり都道府県名または区名のみ使用してよい。帽子にもマークを使用してよい。
但し、商品名はいけない。
 - (2) ユニホームの背中に選手名をつける場合は背番号の上にローマ字で姓のみとする。
同姓の者がいる場合、名前の頭文字をいれてもよい。尚、チーム全員がつけること。
※これに抵触する場合は、チーム全員が同色のテープで当該文字を隠すこと。
 - (3) ストッキングは、同色であれば可とする。
4. ヘルメットは、各チーム7個以上必ず用意し使用すること。
※7個以上のヘルメットを用意してこないチームは、「棄権」とみなし、試合に参加できない。
5. ベンチは、若い番号(組合せ番号)を一塁側とし、後攻とする。
6. ホームページからの確認もできます。(<http://mssb.az2.jp/>)
7. 大会は、A・B・Cクラス及び成年の部に分け、トーナメント方式により行う。
試合は、7回戦とし、4回以後7点差がある時は、コールドゲームとする。
また、決勝戦は、9回戦とし、5回以後10点差、7回以後7点差がある時はコールドゲームとする。**成年決勝の試合については、7回戦とする。**
★降雨・日没等により正式試合の成立は、4回完了時とする。但し、決勝戦は、5回完了時とする。

※延長戦は、次のような特別ルール(タイブレーク方式と抽選)で行う。

継続打順で、前回の最終打者を1塁走者とし、2塁の走者は順次、前の打者とする。
すなわち、無死1塁・2塁の状態にして1イニング行い、得点の多いチームを勝ちとする。
最大2イニングまで行い、勝敗が決しない場合は、抽選によって勝敗を決定する。
(このルールで行う場合は、一度交代した選手はサドンデスには出られない。但し、同試合に未出場の選手はこの限りではない。)

8. 試合開始後1時間40分を過ぎて新しい回に入らないこととする。なお同点の場合は、前記特別ルールで行う。
◎決勝戦については、試合開始後2時間15分を過ぎて新しい回に入らないこととする。
(例示)
 - 7回前に後攻チームがリードしている時、後攻チームの攻撃中に1時間40分を過ぎた場合次の回に入らないこととする。(その時点での打者が最終打者)
 - 7回前に後攻チームがリードしている時、先攻チームが攻撃終了し、依然として後攻チームがリードしている状態で1時間40分を過ぎた場合は、後攻チームの勝利とする。
9. 使用球は、ケンコーボールM号とする。
10. グラウンド内での「フリーバッティング」は認めない。但し、トスバッティングは、試合の妨げにならない場所でのみ認める。
11. ファウルボールは、攻撃側が取りに行き、球審に手渡すこと。
12. 選手の交代、または、途中から来た選手は、必ず球審に申し出ること。
13. 抗議権は、当該プレーヤーと、監督もしくは主将のどちらか1名とする。
14. 抗議権のある監督・主将の背番号を統一する。(監督：30番・主将：10番)
但し、監督・主将が欠場の場合、球審に代行を報告し、メンバー表の背番号の欄に○印で囲むこと。
15. プレーヤーの審判員に対する個人攻撃は厳禁する。犯した時は、審判員が注意する。再度注意をしても聞き入れない場合は、「退場」させる。
16. 紛争の際、激昂のあまり審判員に手をかけた場合は、理由の如何を問わず「退場」させる。
17. ストライク・ボール・アウト・セーフ・ハーフスイング・フェア・ファウルボール等の判定に対しての抗議は、厳禁する。
18. グラウンドの内外を問わず、マナーに留意し、ベンチ内での水分補給以外の飲食・ペット及び電子機器の持ち込みは厳禁とする。
19. 投手がサインを見る時は、必ずピッチャープレートについてみること。
20. 2回以後の投手の投球数は4球までとし、1回目と投手交代の時は、8球以内且つ1分以内とする。
21. 次打者席は自軍側を使用し、打席につく際は、不要のバット等は置かないこと。

- 2 2. 打者がみだりにバッターボックスをはずした場合、審判員はタイムをかけず、投手の投球に対して正規のカウント「ストライク・ボール」を宣言する。
- 2 3. 攻守の交代は駆け足で行い（投手を含む）、実行しない時は審判員が注意をする。
- 2 4. 投球練習後の内野手間のボール回しは、禁止する。但し、捕手の転送球は可とする。
- 2 5. タイムの制限
 - (1) 試合中、選手がインターバルをとるためスパイクの紐を結び直すタイムは認めない。
 - (2) タイムは、1分間を制限とする。但し、審判員が認めた時はこの限りではない。
守備側・攻撃側それぞれ3回までとし、特別ルール（タイブレイク方式）になった場合、2イニングに1回追加出来る
- 2 6. 不正選手出場の場合の処置
 - (1) 試合中に発見された場合は、相手側の勝利とする。
 - (2) 試合終了後に発見された場合は、次の相手側の勝利とする。
- 2 7. 金属バット・マスク・ヘルメットは、J S B Bマーク及び（SG）マーク入りを使用が望ましいとするが、2021年に限り猶予期間とし以降は（SG）入りの物以外は使用禁止する。※33参照
- 2 8. 試合球の交換は、審判員が認めた時に限る。
- 2 9. 大会開始後は、追加登録、登録の変更は認めない。
- 3 0. 雨天時の場合は原則として順延する（次の日曜日）。但し、途中で中止になった場合は変更することもある。
- 3 1. クラス編成について
 - (1) クラス編成は、A・B・Cクラス及び成年の部とし、A・B・Cクラスについては前の大会編成をそのまま踏襲することを原則とする。
但し、Bクラスの優勝チームはAクラスに、Cクラスの優勝チームはBクラスに原則として編入する。
 - (2) 新規加入チームは、Cクラスに編入する。（成年の部を除く。）
 - (3) A・Bクラスで、諸般の事情によりクラス替えを希望するチームは、会長が認めた時に限る。
- 3 2. 試合中雷が発生した場合
状況を判断し、試合を中断して全員安全な場所に避難させ、气象台等の状況を掌握し、その後の処置を行う。
- 3 3. 捕手は、J S B B公認のヘルメット並びにスロート付きマスク、プロテクター、レガース及びファウルカップ着用のこと。（2022年度より、捕手用マスクはS Gマーク合格品の着用を義務化します。

34. 試合中 ガムを噛む のを禁止する。

35. 捕手、一塁手以外ミットの使用を禁止する。 捕手は安全上捕手専用ミット使用を推奨する。

36. その他

- (1) 棄権については、試合前の直前金曜日正午までに、目黒区軟式野球連盟メールアドレスへメールにて連絡下さい。 ✉ : megurokunanshikiyakyuu@yahoo.co.jp
 - (2) 当時雨天の場合は、翌週に延期棄権チームは復活し試合が出来ます。
 - (3) 当日棄権のチームは、代表1名が必ず、グラウンドで審判に棄権を告げなければならない。
試合当日、無断棄権したチームは、次の年1年間(春季・秋季)大会に出場できない。
 - (4) 試合日当日大会開催有無の確認方法
 - 朝6時40分以降から目黒区軟式野球ホームページでも確認できます。
また、第一試合のチームに限り、朝7時30分以降に砧球場管理事務所特別電話(留守番メッセージ TEL 3415-7081)で確認(無人)
 - 第2試合以降のチーム→目黒区軟式野球ホームページ若しくは朝8時30分以降に砧管理事務所へ電話(3415-2361)で確認(有人)、日程については、火曜以降ホームページで確認すること。
 - 緊急の場合は、目黒区軟式野球連盟「小原 章(携帯:080-1258-8385)」に照会できます。
 - (5) 代表者会議での説明または注意事項は、チーム全員に必ず徹底させること。
 - (6) 原則として「公認野球規則」に並び「全日本軟式野球連盟競技者必携」を準用する。
37. 都大会等に出場のチームは監督会議に「公認野球規則」に並び「全日本軟式野球連盟競技者必携」を持参のこと

以 上